

国際 (アジア太平洋地域) 国内 経済 環境 気候変動 インフラ エネルギー 水 水素 AI DX オピニオン

ハシナ政権崩壊、暫定政権が船出

激しい衝突が続いていたバングラデシュで、ハシナ首相が辞任したことを受け、暫定政権を率いる最高顧問にノーベル平和賞受賞者のムハマド・ユヌス氏が8日に就任し、船出した。険悪な事態は一応、收拾されてはいるものの、国民の間では政変による緊張感や不安が高まっているようだ。今後、総選挙を経て新政権が誕生することになるが、野党側に政権が移ることになれば、南アジアのバランスが変わる可能性がある。ハシナ政権は比較的、西側諸国に近く、日本やインドにも友好的な政党だった。総選挙でイスラム色が強いといわれる主要野党のバングラデシュ民族主義党が政権を取るようなことになれば地政学的にパキスタンや中国の影響力が強まる懸念がある。

独裁的な手法、国民に不満高まる

8日発足した暫定政権にはデモを呼びかけた学生リーダーも名を連ねた一方、政党の指導者は含まれていない。党派性を排し、団結を示すことに重点が置かれたと現地メディアは報じ

ている。バングラデシュ国内では今も少数派のヒンズー教徒への襲撃が相次いでいるほか、ハシナ政権時に任命された政府幹部らの辞任が続くなど、暫定政権発足後も混乱は続いている

もようだ。ハシナ政権は経済を高成長に導いた一方、独裁的な手法に、国民から不満が高まっていた。デモのきっかけとなった公務員採用の優遇措置は失業に苦しむ若者にとって受け入れ難く、治安部隊が実弾を用いてデモ鎮圧を図ったことで先鋭化した。

アジア経済新聞

ASIAN ECONOMIC NEWS

■ジャンル: 国際(主にアジア) 国内 政治 経済 金融 環境 気候変動 クリーンエネルギー 建設 鉄鋼 製造 通信 スマートシティ 住宅・不動産 物流 テクノロジー 先端技術 外務省、国土交通省、経済産業省、国際協力機構(JICA)、ジェトロ、経済団体 オピニオン

■購読料: 20,000円(年間)消費税込み

■発行元: 一般社団法人海外インフラ研究協会 / アジア経済新聞

東京都港区北青山2-7-20 猪瀬ビル2F 電話: 080-4830-3330

代表理事 磯部猛也

■アジア経済新聞: 編集責任者 千原直行

E-mail: chihara.naoyuki@gmail.com

■提携誌: 東海財界(月刊)

愛知県名古屋市東区代官町 40-18 ALA 代官町ビル5F

代表取締役・塚本隆氏

TEL052-979-2003



Interview

ロータリー第2760地区... 吉川 公章 ガバナー
中日ビル.....井戸 義郎 社長
中日本興業.....服部 徹 社長

連載 Series 関口が行く

復興の最前線に立つキーマン

第13巻 通巻150号 2024

7月号 定価660円